



2021 年度 12 月号 社会福祉法人 尚徳福祉会 保育園川崎ベアーズ

あっという間には過ぎ、今年も残りひと月となりました。舞い落ちる枯葉や冷たい風に冬の訪れを感じる今日この頃。子どもたちは寒さに負けず、園庭や散歩など戸外で元気に体を動かしパワフルに過ごしています。大好きな散歩に出かけると、「あ！ひこうき」と青い空に小さく見える飛行機を指さしたり、みかんや柿を発見すると「みかんだ」と保育者や友だちに知らせたり、和気あいあいと会話を交わしながら楽しい散歩ができるようになりました。さまざまな活動を通して、友だちと一緒に遊ぶことの楽しさをたくさん感じてほしいと思います。



できるかな？

子どもたちの大好きな体操「できるかな？」では、♪きみはできるかな～♪の音楽に合わせて難しい動きや振り付けもできるようになり、公園では大きな石の上り下りに挑戦し「できた」と手を叩いて大喜びし、体の使いかたも上手になり、また更にできることが増えてきました。靴や靴下の脱ぎ履きも意欲的に取り組み、着替えも少し手伝うだけでズボンは自分で履いて満足な笑顔。着替えた洋服をママ袋にしまうことは、みんなバッチリ！ケースを取り出してきちんと袋の中に入れて、またケースを戻す。何気なく毎日普通におこなっていることですが、いつの間にかいろいろなことが習慣付いてできていることに成長を感じます。同時に仲間意識も強くなり、子ども同士名前を呼び合い「〇〇ちゃんおやすみ」など誰が休みなのかも理解しています。さて、次はどんなことができるようになるのかな？楽しみですね～♪できるよできる・パンパンパン♪

ごっこ遊び

数か月前までは、子ども同士の関わりといえば、同じことを一緒に楽しむことが多く、言葉のやりとりというよりは、一緒に笑ったり走ったり…が中心でした。ここ最近では関わりかたが、言葉や仕草でのやりとりを楽しむ姿に変化し、ままごとでは「アイスどうぞ」と渡したり、受け取って食べて、「おかわりくださーい」とまた手を差し出したり、子どもたちなりにその世界観を共有しながら遊びを展開しています。頼もしくもあり、微笑ましい光景が日々あちらこちらから見られ保育者が仲介しなくても、楽しそうなやりとりも聞こえてくるようになりました。ごっこの世界は、普段の生活をよく見えていますね。同時に観察されてる？とドキッとすることも…（笑）



♪今月のふれあい遊び♪

歌に合わせて体を動かすふれあい遊びをいくつかご紹介します。歌や動きは単調な繰り返しですが、じっくり体を触れ合わせるが一番の楽しさです。歌いやすいようにやりやすいようにアレンジしながら遊んでみてくださいね。

『あしあし あひる』

（親子で同じ向きに立ち、大人の足の上にお子さんの足をのせ一緒に歩きます。両手を支えてあげてくださいね）

♪あしあし あひる かかとをねらえ
あしあし あひる かかとをねらえ

『ぎっちらこ』

（向かい合わせに膝を軽く立てて座り、両手をつなぎます。歌に合わせて前後に体を倒します。お子さんの後ろに倒れて頭をぶつけないよう、マットの上などで遊ぶと安心です）

♪ ぎっちらこ ぎっちらこ
おふねが ぎっちらこ

